

おばま 市議会だより

No. 145



9月定例会の概要..... P2
平成26年度決算認定..... P6
市政を問う！一般質問..... P8

9月定例会の概要

平成27年第4回定例会は、8月28日から10月6日までの40日間の会期で行われました。今定例会では、各会計の補正予算案をはじめ、条例その他の議案が提出され、慎重に審査しました。

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

赤坂 修代氏（国分）
仲井 宗男氏（野代）
木橋 直和氏（西勢）
賛成全員で同意

条例

◆小浜市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について

賛成全員で可決

◆小浜市特定個人情報保護条例の制定について

賛成多数で可決

◆小浜市まちなか交流施設の設定および管理に関する条例の制定について

賛成全員で可決

人事案件

◆教育委員会委員の任命について

入江 深砂氏（千種）
賛成全員で同意

陳情

◆地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

賛成全員で採決

◆安全保障関連法案に反対する意見書を国へ提出するよう求める陳情書

陳情者からの取り下げ願により撤回

意見書

◆地方財政の充実・強化を求める意見書

賛成全員で可決



【可決した平成27年度補正予算】

会計名	既決予算額	9月補正額	合計
一般会計	162億7,090万円	6億9,300万円	169億6,390万円
特別会計	93億6,877万円	5,511万円	94億2,388万円
企業会計	8億6,506万円		8億6,506万円
計	265億473万円	7億4,811万円	272億5,284万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

9月定例会で可決した意見書

▼地方財政の充実・強化を求める意見書

【概要】

2016年度の政府予算、地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実、地方財政の確立をめざすことを求めるもの。



平成 27 年第 4 回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名
報告	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の報告について
	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における資金不足比率の報告について
予算	平成 27 年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）
	平成 27 年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）
	平成 27 年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 27 年度小浜市一般会計補正予算（第 4 号）
条例	小浜市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について
	小浜市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部改正について
	小浜市財政調整基金の設置、管理および処分に関する条例の一部改正について
	小浜市まちなか交流施設の設置および管理に関する条例の制定について
人事	教育委員会委員の任命について
陳情	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について
意見書	地方財政の充実・強化を求める意見書
諮問	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（赤坂修代氏）
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（仲井宗男氏）
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（木橋直和氏）
その他	権利の放棄について
	辺地の総合整備計画の策定について



【採決表示ボタン】

● ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信（本会議終了後約 2 週間程度で視聴できます）などさまざまな情報を掲載しています。



小浜市議会

賛否が分かれた議案等

全＝賛成全員（可決・採択） 多＝賛成多数（可決・採択） 否＝賛成少数（否決・不採択）
 ○＝賛成 ×＝反対 欠＝出席せず 除＝除斥（規定により採決に加われない）
 ※垣本正直議員は議長のため採決には加わっておりません。

項目	件名	採決結果	熊谷	竹本	牧岡	藤田	佐久間	西本	小澤	今井	能登	下中	三木	垣本	藤田	風呂	富永	清水	池尾	宮崎	賛成	反対
			久恵	雅之	輝雄	靖人	博	清司	長純	伸治	恵子	雅之	尚	正直	善平	繁昭	芳夫	正信	正彦	宇蔵		
予算	平成 27 年度小浜市一般会計補正予算（第 3 号）	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	16	1
条例	小浜市市税条例の一部改正について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	16	1
	小浜市特定個人情報保護条例の制定について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	16	1
	小浜市手数料条例の一部改正について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	16	1
	小浜市印鑑条例の一部改正について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	16	1
認定	平成 26 年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		○	○	○	○	○	×	15	1
	平成 26 年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		○	○	○	○	○	○	16	0
	平成 26 年度小浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		○	○	○	○	○	○	16	0
	平成 26 年度小浜市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		○	○	○	○	○	○	16	0
	平成 26 年度小浜市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		○	○	○	○	○	○	16	0
	平成 26 年度小浜市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		○	○	○	○	○	○	16	0
	平成 26 年度小浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		○	○	○	○	○	○	16	0
	平成 26 年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		○	○	○	○	○	○	16	0
	平成 26 年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		○	○	○	○	○	○	16	0
平成 26 年度小浜市水道事業会計決算の認定について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		○	○	○	○	○	×	15	1	

委員会審査

予算決算常任委員会 (9月補正)

◆ふるさと納税事業

628万7000円

【説明】ふるさと納税1億円達成のための必要経費の補正。

【問】目的が返礼品の獲得に変わってきており、思い入れがある自治体への寄付という本来の趣旨から離れてきているのでは。

【答】庁内のプロジェクトチームでも議論となっており、認識はしている。返礼品は地場産に限っており、地場産業の活性化につながるものと考える。

◆小浜ふるさと茶屋整備支援事業 600万円

【説明】福井ふるさと茶屋整備支援事業として、遠敷地区の丹後街道沿い古民家活用計画が採択されたもの。

【問】この支援事業は、自分の家を直す場合も補助対象になるのか。

【答】あくまで空き家が対象であり、県の補助を使い空き家を活用する趣旨の事業。

【問】遠敷地区伝統的民家群保存活用事業との関連性は。

【答】遠敷地区伝統的民家群保存活用事業は町並み保存や

景観を形成していく事業であり、目的が違うものである。

【問】改修後の運営等はどのようにしているのか。

【答】事業主体の保存会が運営を行い、市の支援は今のところ考えていない。

◆戸籍住民基本台帳費、住基ネットワーク事務経費 96万6000円

【説明】通知カード・個人番号カード交付に係る事務費の補正。

【問】臨時職員1名の人件費というが、個人情報扱う重要な仕事は臨時職員でなく、正規職員で対応できる体制を整える必要があるのでは。

【答】臨時職員は郵便関係など簡易な業務を行い、個人情報を伴う業務については正規職員で対応する。

【意見】DV被害者や児童虐待等により、市内に住民票があっても居住していない者は情報弱者になることが多いため、対応と各課職員の認識共有を求めます。

◆国際交流事業 335万5000円

【説明】日米友好の証としてアメリカから贈られたハナミズキ3000本のうち、22本が小浜市に贈られることによる費用。

【問】なぜ総合運動場に20本で、まちの駅に2本なのか。外国人観光客を増やしたいころというまちづくりの中で、多くの人の目に触れる機会があるまちの駅とバランス的にいいのか。

【答】ハナミズキは成長すると10mぐらいになるため、検討した結果総合運動場となった。まちの駅にも米国との友好関係を示す意味で2本とした。

◆道路維持管理経費 2500万円

【問】区長要望について、社会資本の老朽化の速度が速まってきて、予算が少ないため遅々として進まないことに不公平が出ている。インフラ整備の基本的な考え方を議論して、全体の取り組みの中で予算をつけていかないと要望に応えられないのでは。

【答】平成25年度を道路メンテナンス元年と国が言っているとおりに、維持にシフトしている真最中。15m以上の橋梁に関して長寿命化計画はできたが、他にもたくさんさんの施設があり、順次対応しているが、新規の区長要望をいただいても時間がかかると申し上げている。

◆道路維持・改良、河川の維持など、区長要望の件数と、

達成の割合は。

【答】都市整備課内では、要望424件中完了が約20%の89件。継続が約12%の51件。平成27年度に関しては、現時点で336件の要望がきている。

【問】336件の今後の計画は。

【答】緊急の場合は対応し、その他は全部出そろったところで判断する。

◆(仮称)東部小学校建設事業 3億1000万円

【問】今回の補正は当初の総事業費には想定していなかったのか。今後増える可能性はあるのか。

【答】地盤改良工事、調整池とも当初から想定はしていたが、地盤が想定より軟弱であった。県との協議において倍の調整池が必要となった。パイプラインの移設が約500万円かかるが、それを除いた敷地造成に関する工事は完了の予定。総事業費は、財政当局の指示もありできるだけ抑えた事業費になるよう努めている。

【要望】見通しの甘さを危惧する。平成31年4月の開校なので慎重かつしっかり対応を。

総務民生常任委員会

◆議案第72号 小浜市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について

【説明】専門的な知識経験や優れた識見を有する職員の任期を定めて業務に従事させるなどするため、必要な事項を定めるもの。

【問】高度の専門的な知識経験者とは具体的にどのような者か。国体や障がい者スポーツ大会の開催に合わせた職員だけを考えているのか。

【答】知識経験者には、公認会計士や弁護士のほか、防災等に関連して自衛官であった者などを想定している。今回は国体や障がい者スポーツ大会に合わせての条例制定だが、今後はほかの特別な任務等に当たっていたり、ケースも考えられる。

【問】「小浜市職員の再任用に関する条例」がある中、この任期付職員として市職員を再任用することはあるのか。

【答】年齢制限については今後検討していかねばならないが、市職員以外を対象に50歳〜55歳くらいで考えており、定年を迎えた市職員を任期付職員として雇うことは

とはない。

◆議案第75号 小浜市特定個人情報保護条例の制定について

【説明】番号法の趣旨にのっとり、現行の個人情報保護条例とは別に、特定個人情報保護条例を新たに制定し、その適切な取扱いについて規定するもの。

【問】案件が他市町村に移る場合のセキュリティ対策は。

【答】総務省からセキュリティに関する指導が行われており、小浜市や他市町村でも同じくらいのセキュリティレベルになると考えている。

◆議案第80号 権利の放棄

【説明】小浜市土地開発公社の解散にあたり、回収不可能な債権を放棄するもの。

【問】譲渡される土地開発公社の所有する土地は、市の普通財産という扱いになるのか。竜前企業団地の場合は県の制度の中で整備した経緯や地元との協定もあり、企業団地として整備したものを他の用途にすると当初の整備方針が変わることになる。普通財産とは色分けをすべきではないか。

【答】公社の所有する土地が市に移管されると普通財産と

各振興協議会開催報告

なる。普通財産になっても企業促進用地という位置づけで、企業団地として売却促進に努めることも可能。土地が公社から市の所有に変わっても、地元との協定は継続される。

意見 住宅団地など、ニーズがある用途も考えるべき。

産業教育常任委員会

◆議案第79号 小浜市まちなか交流施設の設置および管理に関する条例の制定について

説明 小浜市観光まちづくり計画に基づくまちの駅施設の設置および管理に関する条例を制定するもの。

問 まちの駅の旭座と付帯施設等の説明図面に市の所有以外の土地が入っているところについて問う。

答 当該地籍は除外する。



小浜市おおい町振興協議会

日程 平成27年7月15日
場所 おおい町

北陸新幹線若狭ルート
の現状と今後の課題について、福井県新幹線建設推進課の担当者から、現状について説明を受けました。小浜市・おおい町の議員からは、湖西線が風の影響を受けやすいことから、若狭ルート
の優位性と正当性を強調してほしいなどの意見がありました。また、福井県と若狭地域

の観光について、嶺南振興局若狭観光・地域振興室室長より説明を受けたほか、小浜市長とおおい町長から人口減少対策について現状をお話しいただきました。



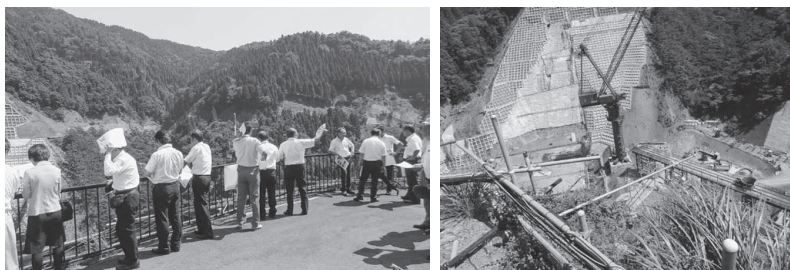
積極的な意見交換

小浜市・若狭町総合振興協議会

日程 平成27年8月5日
場所 若狭町

河内川ダムの建設現場を視察し、建設事務所の
上山所長から、ダム建設の現状と今後の予定について説明を受けました。

完成は平成31年度を予定
しています。



河内川ダムは平成31年度完成予定
ダムの現状と今後の予定について説明を受ける



若狭歴史博物館の芝田館長からは「日本遺産の活用について」を講演
いただき、日本遺産に認定された「鯖街道」の歴史的価値を再認識しました。小浜市・若狭町の議

員からは、観光客の受け入れ体制に関する質疑などがありました。



日本遺産の活用についての講演

小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会

日程 平成27年7月7日
場所 若狭町

「若狭鯖街道熊川宿資料館宿場館」を視察し、
日本遺産認定に認定された「鯖街道」について、資料館職員から日本遺産認定の経緯や展示物の説明を受けました。



若狭鯖街道熊川宿資料館宿場館を視察

「道の駅三方五湖」においては、福井県研究所主任研究員から水月湖の年稿について説明を受け、若狭地方の貴重な自然遺産について見識を深めました。
総会では役員を選任、平成26年度事業報告、平成27年度事業計画案が示され、すべて原案通り承認されました。



水月湖年稿に関する説明を受ける



総会を開催

平成26年度決算を認定

一般会計

歳入 166億6,180万8,230円
歳出 161億6,647万223円

今定例会で、平成26年度の一般会計をはじめとする各会計の決算を認定するため、予算決算常任委員会に付託しました。さらに慎重に審査をするために、総務民生・産業教育それぞれの分科会に調査依頼し、質疑・討論を経て採決を行いました。また、事業の進捗状況を確認するため、9月29日に小浜市内で管内視察を行いました。審査の結果は全会計とも認定することに決しました。

総務民生分科会

▼核燃料税交付金

1億3,250万6,000円

▼電源立地地域対策交付金

1億6,393万8,000円

④ 原発が止まっている状況の中、交付金の今後の見通しは。

⑤ 核燃料税交付金については、平成23年度は東日本大震災の影響で大きく減額となったが、平成24年度からは県の条例改正により従前に近い額で推移しており、今後この額を維持できるものと考えている。電源立地地域対策交付金については、1億5,600万前後で推移してきたが、国の施策により、今後は毎年度数%ずつ減額されるものと考えている。

▼嶺南鉄道整備促進基金負担金

8750万円

▼琵琶湖若狭湾快速鉄道建設促進事業

195万6600円

⑥ 北陸新幹線若狭ルート

の推進で状況が変化し

てきているが、これらの事業をどう考えているのか。

⑦ 新幹線は国家プロジェクト、快速鉄道は地域のプロジェクトで、まったく別物であり、現時点で予算としては必要だと考えている。

▼地域生活路線バス運行対策事業

9515万9415円

⑧ 運賃収入が事業費の1割近くになってきている。現状の対策と将来的な考え方は。

⑨ 少子化により学生数が減少しているのが収入源の大きな要因。不採算部門を切るということではなく、あくまで交通弱者の足を確保する方向で考えていきたい。

▼防災行政無線事業(第2期)

1億6538万5300円

⑩ 供用開始されて1年を経過した今も、無線が途切れたり音声が聞き取れなかったりする地区がある。保証期間の問題も

含め、どのような対応をしているのか。

⑪ 大部分は受信機の設置場所変更等で解決できたが、15件は対応中。保証問題については、問題が解消するまで継続して請負業者の責任で対応していただく。

▼放課後児童対策事業

2694万6957円

⑫ 放課後児童クラブがまだ設置されていない地区はどうしていくのか。また、(仮称)東部小学校の開校に伴い、児童クラブのあり方も検討が必要では。

⑬ 未設置地区について

は、開設に向け保護者との意見交換に向かいたい。(仮称)東部小学校については開校する時点で検討が必要だが、住民の方々と協議していきたい。

▼地域介護予防活動支援事業

754万8000円

⑭ ふれあいサロンの現在の活動内容と、リーダーの不足について問う。

⑮ 現在112区で開催していたら、リーダーの高齢化や人材不足が課題となっているが、研修会を実施するなど育成に努めている。

【決算審査の役割】

決算審査の重要な役割は、この審査が次年度の当初予算にいかに関与されるかということです。審査での意見が、これから編成される平成28年度の当初予算にどのように活かされるかが期待されます。

産業教育分科会

▼企業立地推進事業

3692万6178円

◎この歳出金額と歳入における土地貸付収入の差額について、企業の現状と今後の見込みは。

◎企業とは毎年情報交換を積極的に行っている。

収支の大きな違いは日本電産で、当初から20年間、賃料を変えない契約になっている。平成35年に賃料の協議ができるようになるので、収支が良くなってくるかと考えている。

▼少量多品目農産物等集荷事業 267万円

◎8・9tというのは金額にしていくらか。また事業の状況は。

◎売上額にすると約243万4000円で、品目は109品目。のぼり、主なものとしては、ピーマン、ナス、ねぎ、かんしょう等。今後は、もっと集荷件数を上げる努力をしていきたい。

▼住宅使用料

1億157万7800円

▼過年度住宅使用料

344万4300円

▼公営住宅駐車場使用料

593万7040円

◎過年度公営住宅駐車場使用料

36万2000円

◎滞納があるが、未納者に対しての対応は。

◎家賃を決めた後に、入居者の収入等が大幅に変わって、払えないというようなケースで滞納が増えている。夜間や年金支給日に徴収に行く等、取り組みを始めている。また、連帯保証人に相談しても、なかなか納めてもらえないのが実情である。

▼下水道事業特別会計繰出金 6億784万5357円

◎総事業費と水洗化率等を問う。

◎水洗化率は、公共下水道区域で86・7%、低いのが最近整備された遠敷地区。サンサンホームでの祭りなどに参加して、水洗化のPRを図っている。現在までの総事業費は、33

8億5300万円程度。

◎意見 滞納については、合計すると過年度分も合わせて7000万円近い金額になる。生活上止める訳にはいかないだろうが、しっかりと対応して欲しい。

▼学校生活支援員設置事業 1738万3650円

◎配置人数と割り振りを問う。

◎学校生活支援員は、長時間と短時間の2種類の勤務形態がある。小浜と遠敷小学校は長時間勤務と短時間勤務が1名ずつ。雲浜小学校は短時間勤務が2名。西津、内外海、国富小学校には長時間勤務が1名ずつ。松永、今富、口名田、中名田、加斗、宮川小学校には短時間勤務が1名ずつ。小浜中学校と小浜第二中学校には、長時間勤務を1名ずつ配置している。

▼若狭総合公園温水プール委託金 1399万2000円

◎指定管理料と利用料を合わせて2000万円

弱の収入で、管理費の4700万円を引くと2700万円のマイナスである。

◎この現状を県に報告し、支援してもらえないだろうか。お願いをしているのか。

◎当初の計画に入っていないかった温水プールを作った条件で、基本的な経費は県負担で、それ以外は小浜市が負担する旨の経緯であった。県としては、

県内の他の総合公園では、県による費用負担を特別に認めるとか、費用の増額という事例は無く、小浜市だけ特別扱いはできないとのこと。運動不足となる冬の時期のプール利用促進をPRするなど、収入を増加させる取り組みを今後進めるとか、消費税が10%になった折に、その他の体育施設、社会教育施設も含めて、利用料金の見直しのタイミングを考えていきたい。

▼若狭武田氏館跡測量調査事業 104万7600円

◎進捗状況と整備計画について問う。

◎平成27年度に測量を終了して、追加申請の手続きに入る。平成27年度から29年度で武田氏館跡の小学校部分の追加申請を行い、それから保存計画の見直し、平成30、31年度

発掘調査の報告書、平成32、33年で整備計画の報告書。平成34～37年くらいまでに工事の実施を行い、平成35年から37年には、史跡公園として完成を目指す。

小浜市内で現地視察を実施

平成26年度決算審査において、小浜市内4ヶ所の現地視察を実施しました。所管課の説明を受けながらそれぞれの施設を視察する中で、補助が適正に行われているかを確認しました。



羽賀寺本堂前にて



まちの駅の建設が進む



高齢者介護施設、こども子育て施設を視察



松永地区のふるさとづくり活動について説明を受ける

市政を問う！一般質問

平成27年第4回（9月）小浜市議会定例会

ページ	氏名	質問項目	ページ	氏名	質問項目
8	今井 伸治	1. 小浜市の観光行政について 2. 有害鳥獣対策について 3. 小浜市の行政経営プランについて	10	下中 雅之	1. 小学校再編（統合）について 2. 18歳選挙権に対する取り組みについて
8	風呂 繁昭	1. 財政と行政経営について 2. まちづくりについて	10	宮崎治宇蔵	1. 小浜病院の医師の確保について 2. 安心、安全の子育て支援策について 3. 北川、江古川、込田川、野木川の治水対策について
9	竹本 雅之	1. 生活困窮者自立支援制度について 2. 図書館等公共施設の空調設備について 3. しあわせ元気国体開催に向けた施策について	10	熊谷 久恵	1. ミラノ万博の成果を今後どのように活かしていくか 2. 防災対策について
9	牧岡 輝雄	1. 観光誘客について 2. 28年度重点・重要要望について	11	能登 恵子	1. 第5次総合計画「安心して暮らせるまちづくり」 2. 中学生への政治教育の必要性について 3. 男性の育児休業取得率向上のための対策
9	佐久間 博	1. 食のまちづくりと海の駅について 2. コンパクトシティ政策について 3. 人口増政策について	11	三木 尚	1. 小浜平野地下水調査の進捗状況について 2. 竜前企業団地の活用策について 3. ミラノ博覧会の後の小浜市の戦略について

は。 舞若道の4車線化は。 京都縦貫道の全通により京都―若狭―琵琶湖の大環状ネットワークが形成され、重要な社会資本である。産業、観光等地域の活性化や防災に対して高速度道路の定時性及び安全性の確保、大雪時の通行止めのリスク回避等、高速道路機能を十分発揮するには4車線化が必要不可欠。小浜

は。 舞若道全通1年後の主要観光スポット入込状況は。 前年同期比で蘇洞門3万9800人23%増、明通寺3万4800人33%増、食文化館22万3000人32%増、平成27年に入ってから伸びに減少傾向、道の駅は3%に留まっている。



今井 伸治 議員

日本遺産認定第1号を観光の追い風に！

は。 ホームページ、ポスター、パンフレット等の作成、小浜駅、道の駅、海の駅エリアに懸垂幕やのぼり旗を設置して情報を発信。若狭町、滋賀県と広域連携をして、日本遺産ブランドを活用した地域活性化につなげる。全国街道交流会議若狭路大会を開催し、日本遺産「御食国若狭と鯖街道」を発信し、京都市や北近畿との高速ネットワークで観光施策の連携を推進し、京都観光に訪れているインバウンドの獲得を目指す。特に丹後エリアの観光客を若狭エリアへの誘客に積極的に取り組む。

は。 平成27年度予算の借り入れ額が増えているが、過去最高の平成19年度の169億円に近い。今後の財政運営は大丈夫か問う。

市も重要要望事項としており、先般も知事と嶺南首長が国に要望。 日本遺産第1号認定後の観光の取り組み



風呂 繁昭 議員

「地元中小零細企業育成と経済発展を」

は。 現在つばき回廊跡地に「まちの駅」建設が

は。 完成イメージ図や旭座の説明は揭示する。また、市民や来訪者に積極的にPRし、入込目標数は20万人と見込んでいる。

は。 道路両側に民家への消雪水流入防止の為に全延長グレーチング施工や、節水タイプの積雪センサー、または散水角度の小さい方式等を設置する。今回の整備計画以外の区域の設備内容や事業費を精査し、地元と協議しながら次期整備計画を検討していく。

は。 現在小浜市企業振興助成金制度は5人以上、10人以上といった新規雇用者の要件があるが、要件のハードルを下げて地元中小零細企業が利用しやすい制度にできないか。

は。 全国における工場等の立地状況を参考に等の見直しや、新たな支援策等、今後研究していきたい。

は。 完成イメージ図や旭座の説明は揭示する。また、市民や来訪者に積極的にPRし、入込目標数は20万人と見込んでいる。

は。 小浜西組重伝建地区の整備内容で雨水渠、消雪工法、防火施設のスケジュール等、地元と協議を図っているのか問う。

は。 完成イメージ図や旭座の説明は揭示する。また、市民や来訪者に積極的にPRし、入込目標数は20万人と見込んでいる。

一般質問



竹本 雅之
議員

○ 本市の生活困窮者自立支援制度の必須事業と任意事業の取り組みについて。

○ 必須事業の自立相談支援事業は、直営で取り組んでおり、自立促進支援センターを設置するとともに、社会福祉士の資格を持つ主任相談支援員を配置し相談者に寄り添いながら支援を行っている。

○ 住居確保給付金の支給に関しては、該当する相談はない。

○ 任意事業は、貧困の連鎖の防止のため、生活困窮世帯の小・中学生の基礎学力の向上に向けて学習支援事業を実施している。

○ 来年度以降の本事業への取り組み計画は、今後とも自立に関する相談を受けるとともに、自立のための計画

生活困窮者自立支援制度の積極推進を

を作成し、主任相談支援員を中心に関係機関と連携しながら実施していく。

○ 図書館の空調設備の改修計画は、

○ 年次計画を立て計画的な改修を行い、図書館を利用される市民の皆様にも快適な環境を提供できるよう努めている。

○ 国体会場で障がい者や高齢者が観戦する際のサポート体制は、

○ 一般観覧席とは別に、福祉スペースを設置するほか、障がい者のサポートを担当する係員を配置する。また障がい者用トイレの増設や手話通訳、要約筆記のサポート員の配置などを予定している。

○ 国体の開催を今後の街の活性化にどのように活かすのか。

○ 全国レベルの大会やスポーツ合宿の誘致など、スポーツを通して交流人口の増大を図るほか観光誘客に努めていく。



牧岡 輝雄
議員

○ 小浜縦貫線の現状について現時点での進捗状況を伺う。

○ 平成27年度はいづみ町中ほどまで物件調査の発注が完了、物件の査定ができ次第、川縁線側から補償交渉を進める。第2期区間については関係者に事業概要を説明した。

○ 「海湖と歴史の若狭路」キャンペーンの現状について成果を伺う。

○ 期間半ばだが前年に比べ観光入込客数が2〜3割程度増加した。

○ 市民を巻き込んだ受け入れ体制はどうか。

○ 市民協働による活性化を推進するため、出前講座や、市長自ら小浜市の魅力を生かした地域づくり授業を行っている。

○ 宿泊客の取り込みについてはどうか。

観光誘客と28年度重要要望を問う

○ まち歩き観光の拠点となる「まちの駅」の整備。漁師体験プログラムやブルーパーク阿納の教育旅行誘致。滞在型観光プランの企画・開発・発信に努めている「おばま観光局」や、福井県コンベンションビュロー等との連携も密にしている。

○ 県道泊小浜停車場線の整備について伺う。

○ 加尾、西小川地区へ通じる新たな道路整備については平成23年度から県に重要要望を行っており、県とも協議を重ね事業化に向けた協議を継続。市道宇久線については、一部の線形改良、拡幅改良を行い、27年度は落石防護柵の施工に着手。今後、引き続き必要箇所での改良工事を行う。

○ 藻場造成事業の推進について伺う。

○ 藻場の造成は磯根資源の育成、保全につながるもので、海藻類の商品化にも積極的に後押ししたい。



佐久間 博
議員

○ ミフノ国際博での反応はどうであったか。

○ 参加体験する催しは他になく、キッズ・キッチンで感謝して食に向き合う日本人の精神と、箸研ぎ体験で手の込んだ美しい箸に大好評を受けた。

○ 海の駅を生かした食のまちづくりの今後は、

○ 海の駅フェスタ、海のガーデン、七輪焼き広場等を活用し、滞在・回遊出来るまちづくり。

○ コンパクトシティ+ネットワークの実現とは。

○ 医療、福祉、商業等の機能を、立地適正化計画のもと誘導区域を定め効率的に行う。

○ 小浜の特色を活かしたマスタープランは、現状と将来を見通して、伝統文化、人、食

食のまち小浜を世界に発信して行こう！

など地域資源を最大限に生かした計画を策定。

○ 市長の考える三駅構想とコンパクトシティ政策の考えは。

○ 市街地の空洞化や中山間地域等の集落コミュニティのためにも、持続可能で活力あるまちづくりを推進したい。

○ 人口増最大の効果のU・ターン政策は、

○ ものづくり就職奨励金交付、企業振興助成金、お試し体験住宅等受け皿作りに取り組む。

○ 意識調査の結果は、

○ 人口減少が進む中、企業誘致、雇用の創出を求める意見が多い。結婚出産子育ては意識が高いが、経済的な理由との回答があった。

○ 女性が小浜に住んでもらう取り組みは、

○ 女性の働く場の確保。産み育てるなら小浜でと環境の整備に努める。



下中 雅之
議員

問 平成16年9月に提出された小浜市教育施設等研究委員会の答申に対する教育委員会の所見を伺う。

答 小学校の統合問題は、学校教育についての行政課題の一つであるとともに地域にとっても重要な課題であると認識しており、保護者や地域住民と対話するなかで十分な理解と協力を得ながら、今後の取り組みを進めるべきと受け止めてきた。

問 統合計画見直しについての考えを伺う。

答 教育委員会としては、(仮称)南部小学校・(仮称)北部小学校についても、4校案をベースに進めて行く考えであるが、地区民との対話による合意を求めて柔軟に対応していく。

問 中学校の再編も視

理解と協力を得られる取り組みが重要！

野に入れた、統合問題全般に対する教育長の考えを伺う。

答 (仮称) 東部小学校開校後には、小・中学校の統合について再検討を行うため、『教育問題検討委員会』を立ち上げ、いろいろな方々の意見を集約して、統合案を再度練り上げたいと思っている。

問 主権者教育については、18歳選挙権に直接かかわる高校生とも思われるが、その取り組みについて伺う。

答 中学生に対しては、県が中学校3年生全員へ配布している「今から始める選挙の準備」という副読本により、選挙制度についての授業を行っている。今後も様々な機会を通じて、政治参加や民主主義の根幹である選挙に対する理解を深めていただけるよう事業を展開していく。



宮崎治宇蔵
議員

問 小浜病院の医師数と医師確保のための対策について伺いたい。

答 医師数は現在47名。入院患者数1日平均380人とした場合の必要医師数60人には至っていない。

28年度の国、県要望において、医師確保の支援を本市の最重要課題として要望活動を行っている。



小浜病院本館



小浜病院外観

病院経営大変難しく、猶予のない事態！

問 小浜病院の経営状況について伺う。

答 26年度、70億9113万8000円の事業収益であったが、77億310万4000円の事業費用が上回ったため、6億1196万6000円の赤字となった。(25年度の赤字額は7億2966万7000円。)

問 安心、安全の子育て支援策について伺う。

答 人口減少対策からも子育て支援センターの役割は重要。ニーズ状況を注視する。



子育て支援センター

問 北川・北川下流河川の治水対策を伺う。

答 北川の河道掘削など、河川整備の早期完成を国や県に対し強く要望していく。



熊谷 久恵
議員

問 ミラノ博の成果を今後どう活かすか。

答 キッズ・キッチンを通して現地の保護者より「子供たちの能力を開花させる取組みだ」との評価をうけた。外国でも『料理で教える』本市の取組みが受け入れられることを確信。外国語での開催なども視野に入れ、より高いレベルのプログラムにしたいと考えている。

問 小浜市の観光施策にどう活かすか。

答 若狭塗り箸の評価は高く、ミラノ市内でテスト販売等をした全ての店で継続して販売や使用となった。ミラノ万博出版成果が一過性にならぬよう若狭塗り箸の関係者と共に箸のまち小浜の情報発信に取り組む。

インバウンドの取組みと防災の意識づけ

問 インバウンドの具体的な取組みを伺う。

答 若狭おばま観光協会HPを多言語化しスマホやタブレットで閲覧できる他、道の駅や食文化館などの公共施設でのWi-Fi環境も順次整備。民間事業者対象に看板や飲食メニューの多言語化やWi-Fi環境整備に補助制度を設けている。

問 防災の意識づけと現在の取組みについて。

答 『自助』の取組みとして出前講座やケーブルテレビなどで啓発。「共助」として自主防災組織の必要性を訴え、結成している組織に対し防災訓練や防災資機材購入の一部を補助。毎年6月の水防訓練や8月末には福井県総合防災訓練を行い防災の普及啓発している。

問 小浜市の自主防災組織の結成率は。

答 148区中87区。今後も支援等を通じて地域の防災力向上を目指していく。

一般質問

〔答〕 小浜市には19人の資格者がいる。今後も

〔問〕 「防犯（防災教育）」について、鯖江市では防災士資格者増のため支援し、防災や防犯を教える地域リーダーとして活躍中。小浜市としても支援と協働は考えていかないのか。

〔問〕 「防災」リーダーとなる人がいないなどの理由で自主防災組織団体数未達成。「交通安全」ほぼ達成。「防犯」市民の防犯意識が高まり、犯罪の起きにくい社会が実現しつつある。

〔問〕 第5次総合計画「安心して暮らせるまちづくり」から「防災」「交通安全」「防犯」について、目標・指標の実績値達成について、協働のあり方、問題点を伺う。



能登 恵子
議員

地域防災リーダーと協働して防育向上を

〔問〕 「中学生への政治教育の必要性について」選挙権年齢が18歳以上になったことで、義務教育の中での政治教育をどのように進めるつもりか伺う。

〔答〕 日本国民として必要な政治教育を習得させるのは当然という認識だが、今まで積極的ではなかったし、教育現場には政治教育の蓄積が無い。文科省の方針を待つて取り組む。

〔問〕 「男性の育児休業取得向上のための対策」は、少子化対策でもある。国は、男性の育児休業取得率13%を目標としているが。

区長・自主防災組織に資格取得を啓発し、県の補助事業が終了した後の支援も検討。

〔問〕 「中学生への政治教育の必要性について」選挙権年齢が18歳以上になったことで、義務教育の中での政治教育をどのように進めるつもりか伺う。

〔答〕 日本国民として必要な政治教育を習得させるのは当然という認識だが、今まで積極的ではなかったし、教育現場には政治教育の蓄積が無い。文科省の方針を待つて取り組む。

〔問〕 「市長」浄水場の建設には多額の費用がかかる。人口減少や現在実施中の調査によって明らかになる水収支の結果を踏まえ市民にとって最善の選択をしたい。

〔問〕 今までに何度も議論してきたが、平成22年策定の小浜市水道ビジョンでは現在の地下水利用を停止、縮小して浄水場を建設して北川の表流水を取り入れていくとしている。これによると市民の水道料金は役所の公表では2.5倍私の試算では3.5倍に跳ね上がる。3年間の地下水調査が最終年度にはいっている。市長として大幅な方向転換が必要となった時政治的な決断をするのか。

〔問〕 今までに何度も議論してきたが、平成22年策定の小浜市水道ビジョンでは現在の地下水利用を停止、縮小して浄水場を建設して北川の表流水を取り入れていくとしている。これによると市民の水道料金は役所の公表では2.5倍私の試算では3.5倍に跳ね上がる。3年間の地下水調査が最終年度にはいっている。市長として大幅な方向転換が必要となった時政治的な決断をするのか。



三木 尚
議員

市長、市民にとって最善の選択をする

〔問〕 全庁体制で観光戦略や食関連産業の企業誘致などに活かしていきたいと考えている。

〔問〕 ①嶺南6市町で取り組んでいる広域連携について伺う。

〔答〕 嶺南地域が持続的に発展するためには連携を強化することが不可欠であり多様な広域的行政課題に柔軟に対応できる体制作りも必要である。

〔問〕 ②老朽化が進んでいる若狭霊場の今後の整備について。

〔答〕 火葬場は必要不可欠な施設であり1日も早く最新の広域施設を竣工させ効率的な運営をしていきたい。

〔問〕 全庁体制で観光戦略や食関連産業の企業誘致などに活かしていきたいと考えている。



議会を傍聴しませんか？

議会を傍聴する手続きは、5階の議会事務局で住所と氏名を書くだけです。

— 12月定例会の予定 —

- 12月1日（火） 本会議
- 12月11日（金） 一般質問
- 12月14日（月） 一般質問
- 12月21日（月） 本会議

今月の表紙

9月19日～20日の2日間、小浜地区で放生祭が行われました。出番の区の皆さんは稽古を重ねた成果を存分に披露し、当日は地区一帯が華やかな雰囲気になりました。

（撮影：広報委員 藤田靖・熊谷）



嶋口彰実行委員長のコメント

今年は総勢600名の踊り子に参加いただき、3,500名を超える来場者となりました。これも、地域の皆様や協賛いただきました企業の方々、ボランティアの皆様を支えられたおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。このYOSAKOI祭も少しずつ拡大していけたらと思います。



来場者の声♪

『楽しかった。小浜は静かでいい街。海も見えて気持ち良く踊れるステージだった。』

(県外の参加者)

『晴天に恵まれ芝生の緑とカラフルな衣装のコントラストが目に見え、鮮やかに観ていて気持ちが良かったです。』

(来場者)

『緊張したけど笑顔で練習の時よりうまく踊れた。踊っている時にいい風が当たり、袖がなびいて気持ち良かった。』

(演舞後の6年生)



今年で13回目を迎える御食国若狭小浜 YOSAKOI祭は、新しく整備された「海のガーデン」をメイン会場として開催されました。

若狭地方だけでなく、嶺北や京都府、滋賀県などからもエントリーがあり、よさ友(よさこい仲間)がよさ友を呼んで輪が広がり、園児も加わって、踊り子の年齢層は幅広く、世代も地域も越えて楽しめるイベントとなりました。

サブ会場が蘇洞門遊覧船のりば前になっており、一般の観光客も演舞を楽しんでおられました。

海の駅エリア、海のガーデンは青い空と緑の芝生、そして海風の気持ちの良いステージという魅力があるステージでした。今後さらに活用されるよう願っています。

(取材者:広報委員 佐久間)

寄附行為の禁止ライン

公職選挙法により、議員は選挙区内の人や団体に対しての寄附行為や金品の授受をすることが禁止されています。

禁止されている例として以下のようながあります。

- 町内会・自治会の集会や旅行など催し物への差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- 地域の行事や運動会への差し入れ
- 病気見舞い
- 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪、供花
- 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
- 出産、入学、卒業、就職等の祝い金や祝い物
- お中元やお歳暮
- 年賀状、暑中見舞い等の時候のあいさつ状(答礼のための自筆を除く)

また、政治家に寄附をするよう勧めることや、求めることも禁じられていますので、皆様のご理解をお願いいたします。

編集後記

この夏の県内の天気は、昨年と打って変わり、気温が高い日が多かったです。福井市と小浜市は8月2日から5日間連続の猛暑日を記録しました。皆様、熱中症対策は万全でしたか。熱中症は、水分補給などを心がけていれば防げますが、どうにもならないのが災害です。

去る8月30日、小浜市において福井県総合防災訓練が実施されました。主会場の小浜漁港では、自衛隊や警察、消防など85機関が参加し、土砂災害と津波災害の対処について連携を確認しました。ヘリコプターで、津波により孤立した高層建物屋上に取り残された負傷者を吊上げ救助する訓練など、本番さながらの取り組みでした。非常に頼もしく感じましたが、前述機関が活動するような事態にならないことを願っています。

広報委員会では、市民の皆様にご覧いただきありがとうございます。ご意見・感想などございましたら、ご連絡ください。

(広報委員 竹本)